

野菜のおいしさから生まれる  
豊かな食文化をお届けします。

# ススム 通信

2023年2月期

2022年3月1日 ▶ 2023年2月28日

# PICKLES

代表取締役社長  
影山 直司

## 株主の皆様へ

### 持株会社化で、迅速な意思決定が可能に。 省力化への設備投資で、増益を目指します。

**Q** 2023年2月期を振り返り、  
事業概況についてお聞かせください。

**A** 物価高による食材の買い控えも影響し、  
減収減益という結果となりました。

株主の皆様におかれましては、平素より格段のご高配を賜り、まことにありがとうございます。今期(2023年2月期)における当社グループの概況についてご報告いたします。

事業環境としては前期に続き、新型コロナウイルス感染症対策に注力したことに加え、エネルギーや包装資材、調味料の価格高騰により、原材料や物流などのコストが上昇するほか、物価高による消費者の買い控えにより厳しい1年となりました。売上面では、当社の主力商品である「ご飯がススムキムチ」の2度の増量キャンペーンによる効果があったものの、巣ごもり需要の反動減や消費者の節約志向などにより減収となりました。利益面では、天候が順調に推移したことにより、原材料となる野菜の価格が安定したものの、減収や各種コストの高騰により減益となりました。今期の取り組みと

しては、「大入白菜」シリーズ2品を、簡単に鍋をつくることのできるメニュー提案型商品として販売しました。このような商品はなかなか消費者には伝わりづらい部分もありますが、継続して販売していきたいと思っています。また、少人数世帯による個食の増加や時短メニューの人気から、惣菜は比較的好調に推移しています。今後も消費者のニーズや販売先に合わせた商品の開発及び販売方法を考えていきます。今期の業績は、売上高410億52百万円、営業利益15億38百万円(前期比47.7%減)、経常利益16億50百万円(同46.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益11億38百万円(同46.5%減)となりました。

**Q** 中期経営計画の目標達成に向け、  
2024年2月期の事業展開はいかがでしょうか。

**A** 利益を確保しつつ売上拡大と  
「省力化」をテーマとした設備投資を推進します。

物価高をふまえ、世の中の節約志向が強まり、非常に厳しい事業環

境が続くと思います。そのため、利益に貢献できていない商品の見直しや、季節に合わせてメリハリをつけた原料野菜の使用により利益を確保した上で売上拡大を図ります。また、豆腐売場や納豆売場などの漬物や惣菜売場以外にも商品を展開して消費者との接点増加に取り組んでいきます。一方、人件費の高騰に対しては、機械設備の導入を進めています。茨城県に建設予定の新工場は、検品工程にAIを導入するなど各工程の機械化を進め、多くの人員を必要としない省力化工場を目指しています。

**Q** 2022年9月、持株会社に移行しました。この背景とねらいについてお聞かせください。

**A** 思い切って責任と権限を委譲し、エリアに根ざした事業運営を行います。

これまではピクルスコーポレーションを親会社として、同社が主導し事業運営をしてきました。ところが、地域により顧客ニーズは異なります。そのため、持株会社体制に移行し、グループ会社に責任・権限を委譲してスピーディーな意思決定を行います。さらに、2023年5月からはグループ会社の役員も見直し、各社の社長が中心となり、今まで以上に積極的に事業を推進していきます。

**Q** ピクルスファームやOH!!! など、新規事業の状況や取り組みはいかがですか。

**A** 農業事業への参入ほか、冷凍食品、外食・小売など業容拡大を目指します。

安全・安心な国産原料の安定調達ほか、持続的な農業に取り組むため、2022年3月にピクルスファームを設立しました。(右ページを参照)。ここで収穫したさつまいもを使った冷凍やきいもをテスト販売し、好評を博すことができました。また、発酵や健康をテーマに外食・小売事業を展開するOH!!! では、テイクアウトメニューの充実やECとの連動によりさらなる集客の拡大に努めています。

**Q** サステナビリティやSDGsへの取り組みを具体的にお聞かせください。

**A** 環境や社会に配慮した企業経営をグループ一丸となって推進しています。

当社グループは、「おいしくて安全、安心な商品を消費者にお届けし、同時に地球環境に配慮した企業経営を目指します」という経営理念のもと、SDGsに取り組んでいます。サステナビリティ委員会の傘下に環境、安全・安心、従業員という3つの分科会をつくり、重要課題の特定や達成すべき目標の設定に力を注いできました。製造工程から排出される野菜残渣の有効活用、工場照明器具のLED化や太陽光パネルの設置のほか、健康経営宣言により認証企業を目指した取り組みをはじめするなど、さまざまな計画を進めています。今後も持続可能な企業経営に努め、社会課題の解決に貢献してまいります。

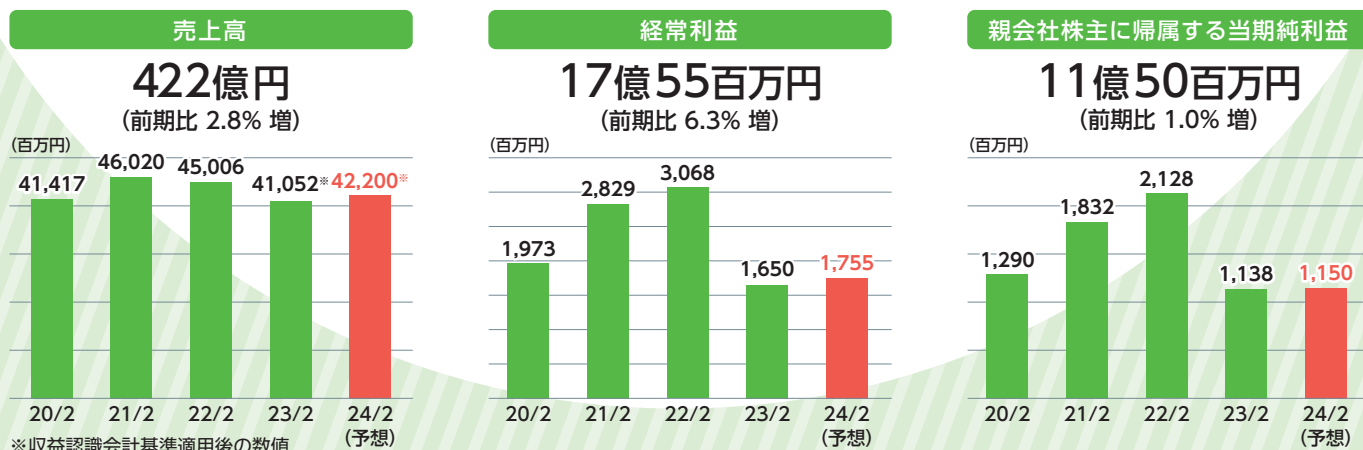
**Q** 配当への考え方と、ステークホルダーの皆様にご一言メッセージをお願いします。

**A** 持株会社化による記念配当を実施。異業種のM&Aも視野に、成長を目指します。

減収減益という厳しい状況ですが、期末配当は、持株会社化による記念配当2円を含め、1株当たり22円とさせていただきます。工場の省力化など、設備投資への源泉として内部留保を確保しながら、株主の皆様への還元水準を高めるため業績向上に努めてまいります。現在、物価高による消費者の買い控えが続くなか、当社グループを取り巻く環境は非常に厳しさを増しております。そのため、既存事業の業界シェアを獲得するとともに、新しい事業にも挑戦します。また、持株会社化により、M&Aも行いやすくなりましたので積極的に検討いたします。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 業績予想



持続的な農業を支える

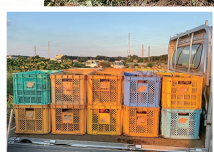
# ピックルス ファーム

農業従事者の不足や高齢化などにより、近年は農業の持続可能性に不安があります。そこで、安全・安心な国産原料の安定調達に向け、自ら農業に参入しました。ピックルスファームでは、埼玉県所沢市にある農地で、さつまいもと小松菜を栽培しており、これを使った商品開発にも取り組んでいます。

## 安定調達

工場に近い農地から野菜を調達することで、輸送コストを抑え、さらにリスク分散を行い安定調達に取り組みます。

ピックルスファームで収穫したさつまいもや小松菜などの野菜はOH!!! で直接消費者にも販売しています。



その他の取り組み

## 循環型農業

野菜を出荷した後に排出される野菜の外皮や芯などを堆肥として再利用しています。焼却・埋立によって、廃棄物として処理するのではなく、資源として再び循環させる取り組みです。契約農家のみならずとも、地球にやさしい循環型農業の実現を目指しています。

## 今後の 展望

今後は、作付面積を拡大して、冷凍やきいもなどの冷凍食品やOH!!! で扱うスイーツの素材など、さまざまな場面で活用できる野菜の生産に取り組んでいきます。現在、ピックルスファームの農場は、埼玉県所沢市などに3ヶ所だけですが、今後は各エリアへの展開も視野に入れています。

高齢者が中心の農業分野において、雇用は重要課題であり、今後の農業に関わるものです。農福連携(農業と福祉の連携)による障がい者の就労や生きがいの創出を支援し、地域の活性化と新たな働き手の確保を行います。

## 農業体験

消費者との関係構築のために食育は重要なキーワードと考えております。その一環として、子ども食堂の利用者を招待し、ピックルスファームで野菜収穫体験やOH!!! でキムチづくり体験を実施しています。また、社員に農業への理解を深めてもらうことも目的の一つです。



## PICKLES Farm

野菜と未来を育てています。

### 事業内容

農作物の生産・加工及び販売  
(主にさつまいも/小松菜)



冷凍やきいもにも!

## JGAP

JGAPとは、農業の持続性を高めるため、食品安全、環境保全、労働安全に関する法令を遵守し、記録・点検・評価などを通じて生産工程の管理や改善を行う仕組みのことです。当社グループには、現在38名のJGAP指導員の資格保有者がおり、契約農家との連携を深めています。



## 収穫作業の受託

植え付けや肥料・農薬の散布は、機械化により効率的になりました。しかし、高齢の農業従事者にとって、特に白菜やダイコンなど重量のある野菜の収穫作業は重労働です。そこで、ピックルスファームが収穫作業を受託することで、契約農家の持続的な生産を支援することができればと考えています。

ピックルスファームの  
会社情報はこちら



# TOPICS



## 広島工場に太陽光パネルを設置

SDGsへの取り組みの一環として、ピクルスコーポレーション関西の広島工場に太陽光パネルを設置しました。CO<sub>2</sub>削減やエネルギー対策を推進するため、他の工場への展開も検討していきます。



SDGsへの取り組みは、ホームページの「サステナビリティ」ページで紹介しています。



## 健康経営宣言を公表しました

当社では従業員の健康を経営的な視点でとらえ、健康経営を推進しています。2023年2月1日、健康経営宣言を公表しました。今後は、次の事項に取り組んでいきます。

- ☑ 健康診断受診率100%
- ☑ 運動機会の増進・習慣定着
- ☑ 特定保健指導実施率向上
- ☑ コミュニケーションの促進
- ☑ 食生活改善

健康経営への取り組みは、ホームページの「サステナビリティ」ページで紹介しています。



## ISO14001の認証を拡大

ピクルスコーポレーションで認証取得している環境管理の国際規格「ISO14001」について、2022年10月よりピクルスコーポレーション札幌に認証拡大しました。今後も、環境リスクの低減や環境パフォーマンスの向上に取り組み、より環境にやさしい企業グループを目指します。



▲ ピクルスコーポレーション札幌

## ESGレポートを公表しました

ESGやSDGsは、当社にとって重要な課題と認識しています。2023年3月、これらに関する情報をまとめ、ESGレポートとして公表。今後もESG・SDGsに関する活動を継続していきます。



## 個人投資家向け説明会を開催しました

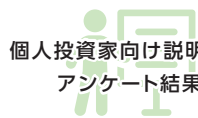
当社では、より多くの投資家様に会社のことを知っていただくため、個人投資家向け説明会を開催しています。当日の資料やアーカイブ動画は、ホームページに掲載しています。



ピクルスホールディングスの各種情報はホームページでもご紹介しています



株主優待制度



個人投資家向け説明会のアンケート結果



会社概要



お問合せ先

株式会社ピクルスホールディングス 広報・IR室

〒359-1124 埼玉県所沢市東住吉7番8号

TEL 04-2925-8885 <https://www.pickles-hd.co.jp>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォント、適正管理された森林木材による森林認証紙、環境にやさしい水なし印刷、ベジタブルインキを採用しております。